

平成 30 年度 第 1 回学校協議会 議事録

平成 30 年 5 月 8 日（火）実施

▶ 協議会委員の出席者

今西恭夫委員 中井正昭委員、伊波豊委員、吉本ますみ委員、山岡鉄男委員 濱口恵子委員

▶ 教職員の出席者

北橋校長 清家教頭

▶ 委員の委嘱

▶ 設置要綱の確認

▶ 会長の選出

満場一致で今西会長を選出

▶ 会長あいさつ

【今西会長よりあいさつ】

子ども達が、楽しく学校に来るように、また、先生方が力を発揮できるように、学校協議会として力を尽くしていきたい。

▶ 平成 30 年度学校経営計画について

【校長より、平成 30 年度経営の重点の説明と、4 月からの児童の様子について報告】

- ・教職員の入れ替わりが大きいですが、子どもたちのために職員が一丸となって取り組んでいる。
- ・個別に支援や見守りが必要なケースがある。
- ・保護者の理解を得て、学校と一致して子どもを見ていくことができるようにしていきたい。
- ・全校集会での話を聞く態度が、昨年末から落ち着いてきていて、今年度もその態度が維持され、よくなってきていることが感じられる。
- ・4 月当初に、学級経営の校内研修を行い、梅花女子大学 伊丹昌一教授から子どもと接するときの『笑顔』の大切さを改めて教授いただき、全教職員が、子どもとの信頼関係づくりを意識しながら日々教育活動に取り組んでいる。
- ・児童が、あいさつできるようになってきた。自分から進んであいさつできるようにもなっている。また、中学校区でも「あいさつ」「立腰」などに一致して取り組んでいる。
- ・学力面での課題解決のため、今年度は『正しく読み取る』ことを研究し、「教室にいたいと思える授業づくり」に取り組む。
- ・子どもの思いやりの心を育てることと、自分自身に素直になり、自分のいいところを伸ばせるように指導していきたい。

➤ P T A主催 地区懇談会への協力について

【校長より説明と依頼】

- ・昨年度の、学校協議会での評価や、保護者アンケートにおいて、学校からの発信が弱いという意見をいただき、学校として、ホームページ、学校だより、学年・学級だより等での発信だけでなく、学校の経営方針を保護者・地域に知っていただき、ともに考え、行動できる取り組みをする必要があると考えた。
- ・P T Aと協議した結果、地区懇談会を活用させていただくこととなった。
- ・学力の課題と生活指導の現状を学校から報告し、家庭や地域の理解と協力を得たい。
- ・学校協議会についても、保護者・地域に紹介するとともに、学校教育、家庭教育への提言をしていただきたいと考えている。

【委員からの意見】

- ・批判ではなく、建設的な取り組み、具体的な取り組みをみんなで考える場にしてほしい。
- ・現役の保護者からの意見をたくさん聞きたい。
- ・地区懇で、いろいろな立場からの意見をきき、今後の子育てにいかしてほしい。
- ・多くの保護者に参加してほしい。
- ・会長から、学校協議会での関係者評価をもとに、家庭・地域・学校へ提言を行う。

➤ 協議・意見交流

- ・今年度は、落ち着いた雰囲気を感じられる。期待を持っている。
- ・先日、地域での出来事をおして、大人に、もっと助け合いの心を持って欲しいと思うことがあった。時代が変わってきたので、子どもとの接し方も難しくなってきたと感じる。
- ・昨年度から、学校の様子を見て、心配している面もある。学校のためにできることは何でもしたい。
- ・学校の様子がなかなか家庭に伝わってこないという話を周りで耳にした。地区懇などで学校での様子を保護者に、聞いてほしいと思う。教職員も地区懇親会へ積極的に参加して、保護者や地域の意見や願いを聞いてほしい。
- ・今年度から、道徳が教科化されたと聞いたが、学校では「感謝」や「思いやり」など、当たり前のことを当たり前で教えるべきではないか。
- ・子どもとの関係づくりにおいては、子どもとの目線を合わせる大切ではないだろうか。同じ目線で接していくことが大切。
- ・家庭の役割として自分が大切にしてきたことは、ご飯は作ってあげること。親子、家族はご飯でつながることが大切。地区懇でもそのような話ができればよいのでは、せめて、今の家庭では、食事の携帯電話はやめて、親子の会話を大事にしてほしい。